

花色が豊富。メガホンのような花形が特徴。

< 植物名 >

ザンテデスキア(カラー)

黄

水やり

湿地品種性は湿った肥沃な土壌を好み、1日1回程度水やりを行う。陸地性品種は、水はけの良い肥沃な土壌を好み土の表面が乾いたら水を与える。

置き場所

戸外の日当たりの良い場所が最適。真夏の直射日光は避け、半日陰に置く。

用土肥料

植え付けの際に、緩効性の肥料を多めに入れる。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

球根を掘り上げるか、鉢のまま乾燥させて冬越しさせる。

使い方 切花、鉢植え

学名 Zantedeschia

英名 calla, calla lily

属名 オランダカイウ

科名 サトイモ

性状(分類) 球根植物

原産地 南アフリカ

花の色 白(苞)

開花期 初夏

購入時期

草丈 30~90 cm

ID 170

季節 夏

JFコード 14741



冬越しと置き場所

湿地に適する湿地性のものと、畑地に適する陸地性のものがあり、それぞれ扱い方が違う。置き場所としては、両者とも戸外の日当たりの良い場所が最適。ただし、真夏の直射日光は避け、半日陰に置く。

その他の解説

花後は、地上部が枯れて休眠期に入る。球根を掘り上げるか、鉢のまま乾燥させて冬越しさせる。植え付けの際に、緩効性の肥料を多めに入れる。

特徴1

カラーの名は、苞の様子がカトリックのシスターのカラー(襟)に似ているところからつけられた。湿地品種性は湿った肥沃な土壌を好み、1日1回程度水やりを行う。陸地性品種は、水はけの良い肥沃な土壌を好み土の表面が乾いたら水を与える。

特徴2

原種は南アフリカ中心に8種あるといわれ、いずれも肥大した地下茎を持ち、葉は矢じり形、先端部に仏炎苞(花びらに見えるもの)と肉穂花序(その中にある棒のようなものに小さな花がたくさんつく)からなっている。園芸品種は数多く作られており、仏炎苞の色も白、黄、クリーム、ピンク、オレンジ、サーモン、淡いグリーンなどさまざま。また、葉に白斑が入る品種などもある。